

実験企画報告書

つきのきんぎょ

ボイスドラマ「トラumont劇場で役者は廻る」は、キャストさんを先に決めてからキャラと話を考えるという企画でした。

予定より大幅に遅れての完成となりましたが、こうしてなんとか世に出せることができ安心しております。

実験企画ですので、報告書のような形でこちらにまとめさせていただきました。

キャストさんのサンプルを聴いてキャラを生み出すまでの過程、話の内容が決まるまでの過程などを主に書いております。

◆キャラ制作の流れについて

本当は何人かエキストラキャラにするつもりだったんですが、役者さんたちのそれぞれの声を聴いてそれは勿体ないなと思い、どのキャラにも魅力を発揮する場を設けました。

じゃあいざ役者さんの声からキャラを作るぞ！ と意気込んだわけですが、まず着目したのは「男性の役者さんが二人」という点。そこで、17人だし半分くらいずつで対照的な2チームに分け（劇場組を光（キャラ的には光じゃない人が多いですが）、ホテル組を影と呼んでいます）、それぞれの中心人物をそのお二人に任せようと決めました（2チームに分けはしたものの、ノーラとオンディーナはどちらにも属していない中立キャラです）。女性が多いのでハーレムものでも良いんじゃないかという妙な案も浮かびつつ、役者さんたちのボイスサンプルを拝聴しまくる……。

そして、ロベルタ役の夕宮さんのボイスを聴いたときに真っ先に浮かんだ「ロリババアっぽい劇場の支配人」というアイデアを活かそうと考えました。劇場をメインの舞台にすれば、役者やスタッフ、関係者など多業種の間人間が関わることになるためです。そして劇といえばかかせないのは脚本（自分がシナリオライターだからというのもありますが）。じゃあ男性キャラの一人は脚本家できーまり！ そこから劇場組のキャラをつくっていきました。

そしてもう一つのチームには「アジト」のような場所が欲しいなと思っていました。劇場組と違って、衣食住を共にするチームにしたかったのです。そしてここで出てくるのがヴァレンティーヌ。男性キャラ二人に共通の女性キャラと関わっていてほしかったので、複雑な理由から女優を辞めて現在はジャンカルロに匿われている、もしくは保護されている、それとも誘拐されている……？ という感じで立場を考えていきました。

そして精神疾患の彼女の面倒を見る人、そしてジャンカルロの心の支えとなるキャラが必要になると思い、暗い過去を持ち彼を慕っている人物たちを仲間にすることにしました。

なお、ジャンカルロとアントニーを協力関係か敵対関係にするかでだいぶ悩んだのですが、もう一捻り欲しいなあと思い、ジャンカルロの隠れた復讐も描くことにしました。

◆変更点について

最初期の設定と完成版は結構変わっています。「マフィアをどこまで絡ませるか」は特に大きく変更点が生じ、最終的にああいう感じにまとまりました。

舞台がイタリアということで少しだけマフィアを絡めたけど、もうちょっと絡ませたかった感。でも火事のことでもベルタはマフィアに相当嫌悪感抱いているだろうから、絡ませたら壮大になってしまう……と思ってやめました。あくまで「劇場」「ホテル」という閉鎖的な空間の中で物語を完結させたかったのです。そういえば初期の段階では、オンディーナを実はマフィアと繋がりのあるキャラにしようと思っていました。

そして当初、ジャンカルロとオンディーナは恋仲になるはずでした。ジャンカルロが教会に通ううちに互いに意識する仲に……なるはずだったのですが、そもそもオンディーナはシスターですし、復讐うんぬんの描写が薄れてしまうと思ったので無しにしました。

あとはトラumont劇場でアントニー作の新作劇の内容に触れるかどうか変更した点の一つです。アントニーが挨拶時に述べたヴァレンティーヌの話と火事の真相を、本来はそのまま劇の内容にしたいなと思っていました。そのほうが真実の晒し方がエモいからです。ですが脚本はロベルタにも読んで確認してもらっているわけですし、これも没に。

◆登場人物、役者さんについて

【ジャンカルロ】 CV. 中嶋有志 様

台本書いているときにやたらと「ジャンクロエ」と書き間違えてました……。

声ね～～やっぱカッコいいですね。声の深みと重み（勝手にコクのようなものだと思っています）を活かしたキャラにしたかったのです。

最初はヘタレな性格である予定はなかったんですが、プロットを書き進めていくごとに「可愛らしさ」が欲しくなりました。真面目で指令塔っぽくてカッコいいけど、もうちょっと人間味がほしい。可愛いもリアリティーも作れる！ ということで、「自分じゃ直接手を下さない」を「自分じゃ直接手を下せない」に変更。脚本上ではヘタレというかチキンになりましたが、お芝居のおかげでちょっと人間的に抜けてる感が出てくれました、ありがとうございます……！

【アントニー】 CV. 新川なおき 様

柔らかいボイスは光っぼいのですが、キャラの性格的にどこか影っぼくもある。

最初は色男要員っぽかったのにだんだん性格の悪さが浮き彫りになっていったキャラです。

キャラとして奥行きが出るのでこういうの好きです……。

台詞の中に込められた思いが一番複雑なキャラだったと思います。

例えば、ヴァレンティーヌはジャンカルロたちホテル組と生活することによって強さを手に入れました。それを見たアントニーは「本当は自分の隣にいるよりもジャンカルロたちといるほうが幸せなんじゃないか」と思うわけです。なので「……君は逞しくなったね」で初めて本当の失恋に気づくのです。

【ヴァレンティーヌ】 CV. あおいろ 様

ボイスンを聴いて「深窓の令嬢絶対似合う！」と思っていたので、ヴァレンティーヌのようなキャラを書けて嬉しかったです。

強さと儚さを兼ね備えたお声だと感じたので、そのどちらも強調して描けるようなシーンを用意しました。けど二重人格じゃなくて一人の人間として演じてくださって、さすがだと思いました……！

いつか三人でまた舞台を作れたらいいなあ。

【ロベルタ】 CV. 夕宮奏風 様

「キャラ制作の流れについて」でも書きましたが、夕宮さんのサンプルがこの物語のきっかけでした。ありがとうございます！ ロベルタというキャラが早めに定まったからこそ、他のキャラもまとまりやすかったのだと思います。

ロベルタは最後幸せな結末にはなりませんでしたが、決して不幸になったわけではなく……。やるべきことをやったら、フィオレンツァたちと一緒に再び劇場を切り盛りしていくと思います。あと舌打ちありがとうございます！！！！

【リリー】 CV. 桜優 様

サンプルを聴いて、お声がめっちゃめっちゃ可愛い……と感動した記憶。

声は二次元ぽいけど演技の感じは三次元寄り？ なので聴いている側も感情移入しやすかったのではないのでしょうか。

劇場を舞台にすると決めた後、桜優さんにバレリーナ役を、と決めたのはわりとすぐでした。アントニーとの絡みでは中型犬(アントニー)と小型犬(リリー)みたいでほんのり尊さが。ちなみにボイスン聴いたときのメモには「誘拐されたバレリーナ。裏切り役」と書いてありました。たぶんそういう役もお似合いになると思います……！

【シルヴィア】 CV. 小音 様

当初、小音さんはホテル側のキャラにしようと思っていました。個人的に小音さんのシリアスなお芝居が好きだからです。

ですが以前 Vanilla∞のボイドラでそっち系の役を演じていただいたことがあるので、「せ

っかくだから明るい役を！」と思いシルヴィアに至りました。

性格的には「THE・明るい」という感じではないのですが、物語の語り部を担いつつ、これからのトラumont劇場の物語を紡いでいってくれる希望・道しるべのような存在です。なんとなくアントニーとはたまに連絡とってほしいと思っています。そしていつか認められてほしい。

【フィオレンツァ】 CV. ミドリノハサミ 様

光にも影にも真っ直ぐなイメージの声でしたので、今回は光に真っ直ぐなタイプのキャラにしてみました。

この作品の良心の象徴ですが、ロベルタの行いを知ってしまったことでちょっと可哀想な感じにも……とはいえ、母が戻ってくるまでにきっとたくましく成長するでしょう。

いつかマリエッタとも親友になれたらいいなあ。

【ユーリ】 CV. 霞月葵 様

もともとは進行形でジャンカルロのことを好き、という設定でした。同時にリリーのことも気になる、みたいなの。でもそんな簡単にリリーと恋仲になってしまってもいいのか、と悩んで、結果プラトニックラブのような友情のような、ちょっと不思議な関係になりました。男装の麗人とかめっちゃ似合いそうとは前々から思っていたので、今回こういう役でお願いできて良かった……！

【マリエッタ】 CV. 吉田ひるね 様

サンプルを聴いた際に、「恋人を殺された復讐に燃える少女」とか「実行犯」とかそういうメモを書いておりました。結果、意志が強く目的のためには手段を選ばないというキャラになりました。

ラストのシーンは気に入っています！ 頼りがいのあるお姉さん、それが彼女の本質だと思っています。彼女がいる限りトラumont劇場は今後も大丈夫でしょう。

ちなみにアントニーとマリエッタの、冷めてるけど仲良しになれそうでもある雰囲気が好きです。これはお二人の音源をいただいてから感じたことだったので意外でした。お二人に感謝です……！

【エルダ】 CV. イヅカ 様

サンプルを聴いたときのメモに「医師、悪役令嬢」と書いてありました。

悪役令嬢っぽいキャラはマリエッタになり、エルダはホテル側の医師に。聡明なお声によく似合っていたと思います。

ジャンカルロに怒るシーンはとくに演技が光っていて素敵でした……！

ホテル組の中では一番常識人に見えますが、「家族」という関係に執着しすぎている面があ

ります。この辺りは実は最後まで変わりません。……あれ、なんか聞っぼい？ そんなこと
ないです、いい「お母さん」です！ けどいつかちゃんと自分の気持ちと決着をつけてほし
い。

【クレオ】 CV. 有村まよ 様

やたらと「クロエ」って書き間違えた記憶。ジャンカルロのときといい「クロエ」の発音が
好きなんですかね……。

ホテル側に「何か」があることは知ってる。でもその「何か」を突き止めたくはなく、あく
まで生活を楽しんでいる。子どもって不思議。そんなキャラです。

劇場での「クロエたちがいるよ」以降の台詞、ここは当初微笑んでるようなイメージだった
のですが、有村さんからいただいた何パターンかの音源を聴いて「ここはしっかりした感じ
にしたほうが良いかも」と考えを改めました。こういうのって色んなシーンであるんですが、
全部キャストさん方のおかげなんですよ。本当にありがとうございます。

【ルイーザ】 CV. 藤崎絵留 様

可愛い双子の姉のルイーザですが、当初双子は冷徹キャラのはずでした。それでも面白かつ
たんでしょうけど、クレオの良きお友達にしたかったので声質イメージ通りの可愛らしい
キャラに。

ちなみに mai さんと一緒に双子キャラに、というのはボイスサンを聴いたあと比較的すぐに
思いついた記憶があります。そのときから声の相性が良いと思ってたんですかね……？
すごくしっくりくる双子でした。ほんと可愛い。

【ルカ】 CV. mai 様

ルカは弟なのですが、ルイーザよりも精神的に年齢が上という設定でした。mai さんの演技
もあって、子どもらしさがありつつ後半は頼りがいがありましたね……！ きっといい青
年になると思います。

サンプルを聴いて少年役をやってもらいたいとは最初から思っていたので、ジャンカルロ
に憧れる役柄を……！ ということでああいう感じに。でもジャンカルロより度胸がある
子なんですよ。いつかジャンカルロの身長追い越してほしいと密かに思っています。

【サンドラ】 CV. いちろう 様

若い年齢のキャラは何でも似合いそう、とサンプルを聴いて思いました。メモには「クール
少年、儂い」と書いてあったのですが、クール部分を活かした秘書役に。ですがラストでは
ちゃっかりした面も出せて良かったです。クールなだけのキャラじゃもったいないと思っ
たので……。

ノーラとは良いお友達になってほしいです。どちらかというとなーラがサンドラを支えて

るような形で。

【ノーラ】 CV. 犬神あう 様

犬神さんには芯が強かったりかっこいい感じのキャラを演じていただくことが多かったので、今回はうってかわってちょっと抜けてるように見える謎な感じに。

ノーラはとても書きやすいキャラでした。シリアスな物語をちょっとやわらかくしてくれる、フィオレンツァと似た効果を生み出す人物です。

おどけてるけどミステリアスでもあるノーラ。犬神さんのお芝居で見事に愛され？キャラになりました。

【イルマ】 CV. 紅茶好きの人 様

メモには「メイド、ハイテンション、前向きなシェフ見習い」と書いてありました。その中からハイテンションなメイドを選び、とにかくフィオレンツァのことが好きなメイドに。ロベルタが一旦劇場を離れた後、フィオレンツァと劇場を支えたのはイルマとマリエッタだと思っています。特にイルマはフィオレンツァの精神面をサポートしてあげたことでしょう。それがなかったら、五年後あのように彼女が舞台に立つことはなかったかもしれません。

【オンディーナ】

執筆中やたらと「オンディーヌ」と書き間違えてました。

キャストさんが降板となったのですが、あてがきなのに後任を探すのはちょっと……となった結果あなりました。マジでごめんなさい！！

◆イラスト、ロゴについて

棚菽さんからデザイン案やラフをいただいたときに、自分の中でこの話の世界が広がりました。

キャラも背景の劇場も、イメージ以上に物語が詰まっていたのです。

何より燃えたチケットって凄くないですか???? 発想に脱帽です……素敵すぎます……。

そしてロゴも素晴らしいんですね……垂れ幕風の飾り枠で劇場を、陽や星で日没をイメージしてくださったとのことで、まさしく世界観を表現してくださいました。ありがとうございました！

◆最後に

ノリと勢いと多大なるご協力での企画となりましたが、つきのとしましてもとても良いチャレンジの機会となり、多くのことを勉強させていただきました。

完成がとても遅れてしまったことに関しましては、本当に申し訳ありません……！
改めて、参加して下さった皆様には感謝申し上げます。
この度はありがとうございました！

つきのきんぎょ